

平成22年度第3回小牧市男女共同参画審議会議事要旨

1 日 時 平成23年2月17日(木) 午前10時～正午

2 場 所 小牧市まなび創造館 研修室

3 〔出席者〕

委 員 代田義勝、仲村佳子、松田照美、山崎佳代、林義人、吉村潤子、
丹羽美代子、正木和喜、長野悦子、加藤昌範

事務局 中嶋教育部長、落合教育次長、羽飼館長、増田館長補佐 他

〔欠席者〕 なし

〔傍聴者〕 なし

4 議 題

(1) 小牧市男女共同参画基本計画の改訂について

- ・一般市民対象意向調査(平成14年8月に実施したもの)(資料1)
- ・<愛知県の動き>新あいち男女共同参画プラン(仮称)の基本方向について(答申の概要)(資料2)
- ・<国の動き>第3次男女共同参画基本計画(資料3)

5 審議会概要

〔事務局〕

ただいまから、平成22年度第3回小牧市男女共同参画審議会を開催します。はじめに、中嶋部長よりあいさつ申し上げます。

〔教育部長〕

おはようございます。本日は、お忙しい中、第3回小牧市男女共同参画審議会にご出席いただきましてありがとうございます。また、日ごろから男女共同参画についてご指導いただき感謝しております。本日の議題は、男女共同参画基本計画の改訂についてです。現在の基本計画、ハーモニーⅡは平成16年3月に策定され、7年が経過しました。10年間の計画ですので、平成26年に改訂することになります。国では、第3次男女共同参画基本計画、県では、新あいち男女共同参画プランが策定されます。このような動きを踏まえ、小牧市の男女共同参画基本計画を策定していきたいと思っております。現在の審議会委員の任期が3月末までとなっておりますが、小牧市にとって、今何が足りないのか、改定に向けて忌憚のないご意見をいただければと思っております。よろしく願いいたします。

〔事務局〕

本日は、欠席委員はいません。委員全員出席となっております。本日の会議は公開とし、情報公開コーナーに公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。

〔事務局〕

議題に入ります前に、3点報告させていただきます。小学5年生向けの啓発冊子「はばたけ未来へ」を一部改訂しました。提出させていただいた資料は校正前の資料ですので、修正させていただき正式なものを5年生児童の皆さんへ配布させていただきます。「はばた

け未来へ」は平成17年3月に改正し、改訂のための作業部会では、校長先生や教頭先生など8名で改訂作業を進めました。しかし、作業部会を設置するには、予算化も必要で、市民意識調査を平成24年度に予定しており、改訂部会を設置することは実質的に不可能なことでした。そこで、当時と同じ学校に協力を得まして、同じ項目で、429名のアンケートを実施しました。そのページのみ差し替えましたので報告させていただきました。

2点目は、国や県の新しい施策に沿った事業ですが、内閣府の地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣に申込をしまして、2月5日(土)に、「非正規雇用で働く女性のためのキャリアプランの描き方」と題しまして、キャリアカウンセラーを講師に招いて、講座を開催し、20歳代から40歳代まで24名の参加がありました。また、2月26日(土)には、「パパと子～肌で触れ合う親子の絆～」と題しまして、遊びを通してパパの育児と家事への参加を促します。現在12組の申込があります。

3点目は、11月30日に第1回DV等ネットワーク会議を開催し、会議の冒頭でDV被害者の相談や自立支援の活動をしている団体で「シスターフッド・マハロ」の代表者から団体の活動について説明いただきましたので、報告させていただきます。

〔事務局〕

会議を進めさせていただきますので、会長からあいさつをお願いします。

〔会 長〕

おはようございます。お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。平成25年度には、新しい基本計画の策定、平成24年度には、市民意向調査を実施しなければなりません。少し早いとは思いますが、これから勉強と議論を重ねていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

議題に入ります。小牧市男女共同参画基本計画の改訂について、事務局から説明をお願いします。

〔事務局〕

— 資料に基づき説明 —

〔会 長〕

ありがとうございました。国と県の動きを踏まえながら、小牧市の男女共同参画基本計画について考えていきたいと思っております。国の第3次基本計画において、改めて強調している視点は5点あります。①女性の活躍による経済社会の活性化、②男性、子どもにとっての男女共同参画、③様々な困難な状況に置かれている人々への対応、④女性に対するあらゆる暴力の根絶、⑤地域における身近な男女共同参画の推進、です。

こういった動きを踏まえて、県では、4つの重点目標を提言しており、さらにその達成に向けて10項目の基本的施策を掲げています。

現在の行動計画「ハーモニーⅡ」では、6つの目標を掲げその達成を目指してきているわけですが、今度実施される市民意向調査では、今まで進めてきたことがどこまで改善したかを確認すると同時に、国や県が掲げる新しい分野についても、調査項目の中に取り込んでいかなければならないと考えています。

はじめに、県のプランにある新しい施策を簡単に確認しておきたいと思います。基本的施策の2「男性にとっての男女共同参画」では、男女共同参画社会の実現は、女性だけの課題ではなく、男性にとっても重要な課題で、固定的性別役割分担意識を持つ人は、女性よりも男性の方が多く、その意識改革の推進は女性だけでなく男性にとっても暮らしやすい社会につながると指摘しています。そのうえで、具体的な施策の方向として、①男性を対象とする広報・啓発の推進、②男性が家庭・地域生活に参画しやすい職場環境づくりの推進、③男性の育児参画の支援、④高齢男性の地域活動への参画支援、⑤メンタルヘルス相談の充実、を示しています。

基本的施策の3「子どもにとっての男女共同参画」では、次世代を担う子どもたちが、子どもの頃から男女共同参画への理解を深め、それぞれの個性を活かして、成長していくことが重要であると指摘しています。そのうえで、具体的な施策の方向として、①子どもを対象とする広報・啓発の推進、②家庭教育の支援、③学校教育における教科・道徳・特別活動等での実践、④キャリア教育の推進、⑤教職員に対する男女共同参画の理解の促進、を示しています。

基本的施策の5「地域活動における女性の地位向上と活動分野の拡大」では①防災活動における女性の参画の促進、②環境活動における女性の参画の促進、③観光まちづくり分野における女性の参画の促進が、基本的施策の8「人権の尊重と様々な困難を抱える人々への支援」では①高齢者の自立した生活に対する支援、②外国人女性の自立した生活に対する支援が、新しい「施策の方向」の項目となっています。

さて、もちろんこういった動きを踏まえて小牧市の新しい基本計画を策定していくわけですが、当時の意識と10年後の意識がどのように変化したかを見比べるためには質問項目を全く変えてしまうのではなく、平成14年度に実施した市民意向調査に新たな調査項目を追加していく形が望ましいと思います。ただ、明らかに外した方がいいと思われる項目等があれば、ご意見をいただきたいと思います。何かご質問、ご意見等はありませんか。

〔委員〕

平成14年度に実施した市民意向調査の項目に新しい分野の項目を追加することには、賛成です。青少年に対して、意向調査を実施していただきたいと思います。最近、デートDVなどの問題もありますので、14歳くらいを対象に意向調査をしてはどうかと思います。また、ドメスティック・バイオレンスの被害者に関する相談、自立支援に関する設問が見当たらないので、設問項目として設定していただきたいと思います。また、「2つまで○印」といった記載がありますが、設問の中で、どれも当てはまり、2つでは少ないと思いました。また、選択肢の中に言い回しがわかりにくい表現があると思いました。

県や国のプランでは、はっきりとした達成目標が書かれているので、小牧市でも、目標数値や成果目標を作って、ハーモニーⅡの総括として、どこまでできているのか、アンケートの中に入れなければならないと思います。

〔委員〕

「はばたけ未来へ」についてですが、平成16年当時では、「男らしく」「女らしく」などといわれたことはありますか、という質問で、「ときどき言われる」は29名でしたが、平成22年では、56名となり、「言われたことはない」は減っていることが現実なんです

ね。私たちが一生懸命活動してきたことと逆行している数値が出ているということですね。

〔会 長〕

このグラフ中の数字は、人数ですか。

〔委 員〕

平成16年は432名、平成22年は429名ですので、人数はほぼ同じです。

〔委 員〕

ある学校の校長先生が、女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしくと教えることのできないのかと言われましたので、そういう意識だと思います。

〔会 長〕

若い男性は、最近保守化しているようです。

〔委 員〕

生活環境が変化しているので、その変化に伴う意識ということです。こういった生活環境の変化等を考慮するような設問をどれだけアンケートに盛り込めるか、非常に難しいです。

〔委 員〕

無作為抽出となっていますが、年齢別はどのように選んだのですか。

〔会 長〕

専門業者が行なっていると思います。

〔委 員〕

その業者は信用できるのですか。市民台帳を業者に出すのですか。

〔事務局〕

市のコンピュータで無作為に抽出して業者に渡していると思います。

〔委 員〕

業者が選んでいるのは、問題です。

〔事務局〕

業者は情報を持っていませんので、市で抽出しております。

〔委 員〕

市がやっているということですね。では、何課がやっているのですか。

〔事務局〕

市のコンピュータを管理している課に依頼し、無作為抽出のプログラムを作成し、無作為に選んでいます。

〔委員〕

市の中で行なっているのですね。このやり方も信頼していいのですね。

〔事務局〕

市民課が住民情報を持っており、大型のホストコンピュータに重要なデータが入っております。十分に管理されている部屋にそのホストコンピュータがあります。年齢や人数など委員の皆様からご意見いただき、無作為に抽出し、その抽出した部分だけを業者に渡しますので、データ全部を渡すわけではありません。

〔委員〕

回収率はどれくらいですか。

〔事務局〕

700名、回収率は35%ほどです。

〔会長〕

35%は高いと思いますが。

〔委員〕

公的機関が実施するアンケートは40%前後とされていますので、3割くらいから5割程度だと言われています。民間が実施すると数パーセントとされています。

〔会長〕

青少年向けのアンケートを実施してはどうかというご意見等が出ていますが、その他ありませんか。

〔委員〕

属性についての設問、つまり「貴方ご自身のことについてお聞きします」について、5年刻みになっていますが、クロス分析する時に、5年刻みで対応していますか。

〔会長〕

例えば、ハーモニーⅡのグラフでは、年齢と平等意識をクロスさせていますが、10年刻みです。属性に対する質問は、ここまで細かくする必要はないのかもしれませんが。

市における一般的な調査では、これほど記載が細かいものはないですか。

〔事務局〕

ないです。見やすくなっています。

〔会 長〕

あまり細かくしても意味がないと思います。10年刻みくらいにした方がいいと思います。

〔委 員〕

回答率35%の男女の比率はわかりますか。もしアンケートが届いたら、個人として答えるより、男性として答えると思います。と言うのは、男女共同参画は、「女性のための」という意識にとられやすいからです。最初は自分もそう思っていました。ようやく、男女共同参画は、地域に住む一人一人が、男性・女性といった性別にとられず、住みやすい世の中にしていくことが男女共同参画だと分かりました。そういったことをアンケートにうたっておかないと、設問の主語が「女性は」となっているので、男性としては、アンケートに答えづらいです。男性も答えやすいものにするよう気を使わなければいけないと思います。

〔会 長〕

重要な指摘をありがとうございます。今回は、「男性のための男女共同参画」を意識しなければなりませんので、男性が快く答えていただけるような文章にしなければなりません。

〔委 員〕

2点あります。1点目は、選択肢において、今の時代にはそぐわない表現が見られますので、丁寧に細かく見ておく必要があるという点です。例えば、「令夫人」「〇〇女史」のように女性だけに用いられる言葉は、削除してもいいと思われる選択肢だと思います。また、「子育て支援の充実と母性の保護、母子保健の充実」は、内容を盛り込みすぎの選択肢だと思います。また、母子保健について、この項目に揚げていいのかといったことが課題だと考えます。細かいことを言うといろいろあると思いますので、精査していただきたいと思います。

2点目について、新しい分野に対応するよう、設問を付け加えていく話がありましたが、意向調査は、「女性は・・・」といった傾向がやや強いと思います。就業について「女性が働き続ける場合」や「女性が職業を持つ」といった点が意向調査に書かれていますが、バランスをとり、新しい分野「男性にとっての男女共同参画」を意識するのであれば、例えば「男性が家庭に参画する」「男性が育児休業を取得する」といった設問も必要ではないかと思います。

〔会 長〕

意向調査では、女性を意識した質問になっていますので、バランスをとる必要があると思います。子どもにとっての男女共同参画については、どうですか。

〔委 員〕

子どもにとっての男女共同参画について、参考までに情報提供させていただきます。春日井市が、昨年8月ごろ中高生向けの意識調査をしております。学校を通して用紙を配布し学校の先生に回収していただきました。学校で実施しましたので、ほぼ100%に近い

回収率でした。内容については、「男性は仕事、女性は家庭」といったことについてどう思いますかといった内容や、社会全体、学校生活について平等観を見る設問、また、男らしく、女らしくと言われたことはありますかといった内容でした。子ども目線だと思われる設問で、中高生向けにアンケートを実施しましたので、報告させていただきました。

〔会 長〕

地域活動・社会活動についての設問はどうですか。

〔委 員〕

地域活動への参加に世帯主を書くのではなく、最近は、地域活動に参加する人の名前を書くことが多くなってきました。

〔委 員〕

地域活動で、保険をかけるので、参加する本人の名前を書くようになってきました。自治会の名簿には世帯主を記載し、活動する名簿は本人を記載しますので、質問の意図していることと回答は、同じものがかえってくるとは限らないと思いますので、地域活動としてひとくくりにしてしまうと難しいと思います。

〔委 員〕

地域活動に参加しているかどうかの設問で、「いいえ」にも重要な要素があると思います。地域活動に参加せず、家に引きこもっているお年寄りが実際はかなり多いと思います。

また、まなび創造館の男性用トイレに赤ちゃんを乗せる台が設置してありましたが、「女性センター」だからですか。

〔事務局〕

以前は、団体交流室に設置してありましたが、オムツを変える場所はないかと男性利用者から問合せがありましたので、男性トイレへ設置しました。

〔委 員〕

選択肢の中で、1つ選びなさいという設問がありますが、1つ選べないことがあります。また、いくつ選べばいいか何も記載がない設問もありますので、見直す必要があると思いました。

〔委 員〕

「男らしく、女らしく」について、まず、しつけを考えます。例えば、女の子はあぐらをかいてはいけないといったしつけの面を考えてしまいますので、しつけとは違う文章にしなければならないと思います。しつけを否定されているような感覚を持ってしまいますので、こういった設問のあるアンケートが届いたら、出さないかもしれないと思ってしまいます。よって、アンケートの最初の書き出し部分は大切だと感じますので、考えていただきたいと思います。

〔事務局〕

先ほど、委員よりアンケート回収率の男女比についての質問ですが、女性は434件、男性が248件、回収できたアンケート票全体のうちの約6割が女性となりましたので報告させていただきます。

〔会 長〕

先ほど、委員から指摘があったとおり、男性の回収率の方が低かったですね。

〔委 員〕

男性に回答していただけるようにアンケートを工夫しなければなりません。

〔委 員〕

「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」について、私もしつけの部分だと思います。女の子があまりにも乱暴な言い方をすると、女の子だから女の子らしくと思います。しつけが基本にあって、その上に男女共同参画があると思います。

〔会 長〕

そうですね。職業選択とは別ですね。男性が就業しやすい職業と、女性が就業しやすい職業があると思いますが、しつけをしっかりとしたから、女の子が女性が就業しやすい職業に就くとは限りませんし、男女共同参画としつけの区別は難しい点です。

〔委 員〕

平成14年の資料をみると、全体的に変わってきていると感じました。一文一文確認した方がいいと思いました。地域活動のページに、父母会、婦人会と記載ありますが、最近あまり見ませんし、全体的に一文ずつ検討しながら新しい意向調査を作成しなければならないと思いました。

〔委 員〕

意向調査について、きめ細かくすると同時に、広報を積極的にすると、市民が男女共同参画についてもう少し関心を持ち、問題意識を持つと思います。小牧市の広報やその他の広報活動を強力に推進していただきたいと思います。

〔会 長〕

平成23年3月末で、2年間の委員の任期は修了しますので、会議への出席としては本日が最後になります。今までの会議での議論を踏まえて、より良い市民意向調査を作成していくこととなります。ありがとうございました。その他に、事務局から何かありませんか。

〔事務局〕

2点ありますので、よろしくお願ひします。1点目は、2月20日に、女性活動推進を委託しているウィメンズネットこまきの主催による「ワイワイっとまつり」を午前9時か

ら午後4時まで開催しますので、ご都合がつく方は、お越してください。すでにセンターモールでは、活動の展示をおこなっておりますので、ご覧ください。

2点目は、先ほど会長からお話がありましたが、任期が3月末で任期満了となります。2年間に渡り、多大なご協力を賜りましてありがとうございました。半数の方には引き続きお引き受けいただき、半数の方は新しい委員の方と入れ替わりとなりますが、今後も男女共同参画の推進についてご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

〔会 長〕

その他に何かありませんか。ないようですので、会議を終了し、事務局へお返しします。

〔事務局〕

貴重なご意見いただきまして、今後の改訂に向けて進めたいと思います。長時間に渡り、ありがとうございました。これをもちまして第3回小牧市男女共同参画審議会を終了いたします。ありがとうございました。